

江南市ごみ処理基本計画（改訂版）（案）に関するパブリックコメントの結果

意見の募集期間 : 平成27年1月7日（水）～平成27年2月6日（金）

意見を提出された方 : 3名

意見の件数 : 8件

意見の概要及び市の考え方

1. ごみのリサイクル率について

意見の概要	江南市のごみのリサイクル率は県下の10万人以上の市ではトップとなっていますが、これは非常に都合のよい数字ではないでしょうか。人口10万人以上50万人未満の市のトップは小金井市の48.4%がトップで、大きく引き離されており、今やごみ処理先進地とは言えません。一層の努力を期待します。
市の考え方	江南市では、平成10年2月から全市を挙げてごみ減量「57（こうなん）運動」を実施してきました。その結果として、県下でもトップクラスのリサイクル率（平成24年度：28.9%）を維持してきました。今後は、リサイクル率の向上に主眼を置くのではなく、リサイクルを量よりも質の面から捉えて、レアメタル（希少金属）の回収を促進するなど、循環資源を高度に利用し、これまでよりも一歩踏み込んだ形で循環型社会の形成を推進していきたいと考えております。

2. ごみ減量の推進について

意見の概要	減量目標に対する考え方が、「江南市ではごみ減量が県内でも進んでいる現状があり、市民の生活や事業環境に革新的な変革がない場合、大幅な低減は困難であると考えられます。」となっていますが、これは、江南市がごみ減量の推進を放棄するものに等しい表現です。この表現を削除し、国、県の数値に縛られるのではなく、さらに市民と協働してごみ減量を推進する表現に改めてください。
市の考え方	ご指摘いただいた部分の表現は、あくまでも江南市の現状を分析したものであり、今後のごみ減量推進の放棄を意図するものではありません。市としましては、今後も、資源ごみの分別排出に向けた情報提供や環境の整備を行うなど、ごみ減量に向けた取り組みを一層推進していくことと併せて、循環を質の面からも捉えて、これまでよりも一歩踏み込んだ形で循環型社会の形成を推進していくことを考えております。 なお、指摘箇所の表現については、市民との協働を踏まえた取り組み強化の必要性を示す表現に改めたいと考えております。

3. 基本理念の目標について

意見の概要	「環境負荷を最小限に抑える」とする基本理念の目標として、「限りなく焼却ごみのゼロを目指す」ことを計画に明記してほしい。
市の考え方	市としましては、「環境負荷を最小限に抑え 資源を有効利用する 協働・循環型のまち」を基本理念とし、市民・事業者・行政の協働により、循環の質にも着目した取り組みを進め、「協働・循環型のまち」の実現を目指すことを考えております。

4. ごみ減量目標値について

意見の概要	市民1人1日あたりのごみ排出量の目標値について、減量目標値を大幅に引き上げ、家庭系可燃ごみは平成31年度目標を10%減の357g、平成36年度目標を30%減の278g、事業系可燃ごみは平成31年度目標を20%減の110g、平成36年度目標を40%減の83gに改めてほしい。
市の考え方	市民1人1日あたりのごみ排出量の目標値については、市のごみ排出の現況と国及び愛知県目標値を考慮して設定しています。

5. ごみの収集方式について

意見の概要	ごみ排出者個人の責任を明確にするため、可燃ごみ、資源ごみともに戸別収集方式に切り替えてほしい。収集した資源ごみの分別センターを設置すれば、収集の簡易化が可能になると考える。
市の考え方	可燃ごみ、資源ごみともに、収集運搬、中間処理については、基本的には現状と同様の内容で継続することを考えております。ただし、資源ごみの回収拠点・回数については、排出の利便性向上を図るため、拡大・増加を検討していきます。

6. 粗大ごみの収集方式について

意見の概要	粗大ごみの基準を「60cm」から「1m」に変更し、品目ごとの料金制を採用してほしい。また、粗大ごみの集積センターを設置して、持ち込みができるようにしてほしい。
市の考え方	粗大ごみの基準等については、搬入先となっている江南丹羽環境管理組合を構成する江南市、大口町、扶桑町との相互調整により定めているため、現状と同様の内容で継続することを考えております。

7. 生ごみの資源化について

意見の概要	生ごみの資源化に本格的に取り組むことを計画に明記してほしい。
市の考え方	生ごみの資源化については、臭気・場所の選定等について課題があるため、自主的に取り組まれる地域、市民団体からの要望等があれば、協働で研究していきたいと考えております。

8. 公共施設のごみについて

意見の概要	公共施設のごみを家庭系ごみに紛れ込ませるような事態を作らないでほしい。公共施設から出るごみの量を厳密に計量して、市民に公表してほしい。
市の考え方	公共施設から出るごみについては、江南市が事業者として自らの責任において、適正に収集・処理を行っています。公共施設のみのごみ量を公表することは考えておりません。